



# 上小小だより

〒330-0855 さいたま市大宮区上小町 1337-1

HP <http://kamiko-e.saitama-city.ed.jp/> TEL : 048-644-6251

## 教育目標

- ◎ 心豊かな子
- ◎ 進んで学ぶ子
- ◎ 健康な子

## 地域の夏祭りを通して

校長 白石 徳一郎

### ▶創立50周年記念 手持ち花火校庭開放

7月22日(月)には、青少年育成三橋地区会、PTA おやじの会の皆様による手持ち花火校庭開放が開催されました。昨年度に続き、2回目の開催でしたが、今年度は創立50周年記念として、創立50周年記念実行委員会によるしかけ花火もありました。大変な迫力で大歓声につつまれ、素晴らしい周年行事となりました。また、翌朝には早朝よりPTA おやじの会の方が校庭のゴミ拾いをしてくださいました。大変お世話になり、ありがとうございました。



### ▶地域の夏祭りの素晴らしさ

7月、8月には、たくさんの地域の夏祭りのご案内をいただきました。多くの子ども達、保護者の皆様も夏祭りに参加されたことと存じます。私もいくつかの夏祭りに参加させていただきました。このような地域の催しは、子どもたちの思い出として残り、地域への愛着や、積極的に地域とかかわろうとする態度につながっていくことでしょう。コロナ禍のわずか数年で、社会では人間関係の希薄化を感じ、コミュニティーの大切さを痛感しました。地域の子ども達、保護者、地域の皆様が顔を合わせる機会を通して、顔見知りになり、地域のコミュニティーにつながっていくと思います。子ども達はすぐに大きくなりますので、幼少期にこのような温かい地域コミュニティーに参加する経験ができるのは、子どもにとって大変素晴らしいことだと思います。近年、子育てには学校・家庭・地域の連携・協働がより一層大切であると言われていています。子ども達の健全育成のために、地域・保護者の皆様に改めて感謝申し上げます。

### ▶子どもが元気に2学期をスタートできるように

夏祭りでは、子ども達の周りで保護者の方が温かく見守っていらっしゃる姿が印象に残りました。子どもは少しずつ行動範囲が広がり自立していきますが、小さい年齢では依存心が強く、「ママ見て！見てママ！」のように、ただ温かく見守ってもらえるだけで安心し、頑張る姿が多く見られます。大きくなると自立心が強くなり、親の過干渉を嫌うようになりますが、依存心と自立心がちょうど半々くらいになるのが10歳頃で、10歳の壁とも言われます。子どもは小さい年齢のうち、大人と手をつなぐことで安心し、嬉しく感じます。大きくなると手をかけることは少なくなります。目をかけ、声をかけながら、子どもが困っている時には力を貸し、支えてあげることで頑張っていくことができます。発達心理学に「安全基地」というものがありますが、子どもは安心できる環境(=安全基地)があると、外に向かっていくエネルギーをもてるようです。

2学期がスタートしましたが、まだまだ残暑が厳しく、また、学校生活のリズムに体が慣れるまでは疲れが出やすいと思います。子ども達も思い通りにいかないことや、友達との人間関係で嫌な思いをすることもありますが、子ども自身が乗り越えていけるよう、ご家庭でも子どもの気持ちの整理にお力添えをいただければと存じます。